

授業科目	日常生活適応学	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	中村裕二 (保健医療学研究棟 E503 号) e-mail : yujin@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(梅田信吾)		
概要	作業療法士は対象者の日常生活動作(ADL)を再建する専門家である。そのため作業療法士は、障害の有無に関わらず、ヒトのADLについて科学的な理解を深める必要がある。本講義では、ADLの概念と障害モデルとの関係を理解するとともに、生活の質(QOL)の理念に関する理解を深める。更に、QOLを向上させるためにADL支援や生活環境整備、社会的資源の利用が果たす役割について理解する。		
到達目標	1. ADLの概念や評価方法について説明できる。 2. 生活の質に関する概念が説明でき、ADLや生活環境整備、社会的資源との関わりについて具体的に説明できる。 3. ADLへの作業療法の介入方法について概略を説明できる。		
関連科目	作業療法概論、基礎作業学1、作業療法評価学1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	80%	
	学習態度	20%	
教科書	①日本作業療法士協会監修 [2009年・3,780円] 「作業療法学全書 作業療法技術学3 日常生活活動」 協同医書出版社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	主体的な講義・演習への参加を必要とする。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	本科目の目的・目標、学習内容・方法、履修上の留意事項、ADLの概念について知る。	事後：講義ノート、配付資料	講義	中村
2	QOLとADLの関連について学ぶ、国際生活機能分類とADLの関係について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
3	ADLの構成要素・構造・評価方法について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
4	既存の評価方法について比較しそれぞれの特性を知る。	事後：講義ノート、配付資料	講義・演習	〃
5	生活環境とADLの関連について知る。	事後：講義ノート、配付資料	講義	〃
6	福祉機器の給付の仕組みと利用方法について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
7	基本モジュール等の解説と簡単な平面図の理解。住宅改造の基本的ポイントを学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	講義・演習	〃
8	基本モジュール等の解説と簡単な平面図の理解。住宅改造の基本的ポイントを学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
9	住宅改修の基礎的なポイントを学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃

10	姿勢のポジショニングやトランスファーに関する理論について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
11	姿勢のポジショニングやトランスファーに関する理論について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
12	装具・義足の目的、種類、適合に関する基礎理論を学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	講義	(梅田)
13	装具・義足の目的、種類、適合に関する基礎理論を学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	〃
14	ADL 動作に関する基礎的な評価、治療、治療手技について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	〃	中村
15	普通型車いすの特性と基本的な操作方法について学ぶ。	事後：講義ノート、配付資料	講義・演習	〃